

スクールカウンセラーの活用の仕方

配置校の教員がスクールカウンセラー（以下 SC）をよりよく活用するためのポイント、また配置される SC がよりよく活動していくためのポイントをご紹介します。

★ ポイントその1：SC 配置校として

①SC を児童生徒に紹介する場を持つ

全校朝会などで紹介すると、SC の顔が分かり、児童生徒が相談しやすくなります

②情報交換の場を持つ

例) 会議など定期的に情報交換や支援の方策を考える場を設定する

SC 訪問日に情報交換の場を設定する

SC の机を職員室に置くと、情報交換がしやすくなります

<SC の活用例>

①児童生徒へのカウンセリング

- ・不登校等学校不適応の児童生徒への対応
- ・別室登校の児童生徒への対応 など

②教員へのコンサルテーション

児童生徒への対応について話し合います

③予防的活動

- ・スクールカウンセラー通信の発行
- ・現在、ストレスを抱えている生徒への早期のサポート
- ・教員が必要な心理教育の資料作成の支援を行います

Q&A

Q.「うちの学校には、現在相談が必要な生徒がいないのですが、どう活用したらいい??」

A. こんな活動をしている SC もいます

- ・年度当初に全校生徒への全員面接の実施
- ・教員のカウンセリング体験
- ・心やストレスに関する授業のサポート
- ・授業見学など普段の児童生徒の様子の観察
- ・全校朝会の5分など、短い時間で心やストレスに関する児童生徒向けのお話をする など

★ ポイントその2：SC として

①先生方とコミュニケーションを取りましょう。

②先生方と一緒に活動を計画しましょう。

③困ったときは各教育事務所配置のこころのサポートチームに相談しましょう。

学校について知るため、配布されるプリント（学級通信など）を積極的にもらいましょう！

<SC の活動例>

- ・児童生徒の様子について情報交換を行う
- ・1学期には児童生徒の状況を理解するため、前年度の「心とからだの健康観察」児童生徒個票を確認する。
- ・生徒向けや保護者向けの通信を出し、SC について知ってもらう機会を持つ
- ・受験や大会前にストレス対処法のお話をする
- ・近隣地域の活用可能な外部機関を把握する

不適応対策に係る情報を発信していきます。不適応対策指導の参考に活用していただければ幸いです。

岩手県教育委員会事務局学校教育室生徒指導担当 (019-629-6145)

<http://www.pref.iwate.jp/list.rbz?nd=1813&ik=3&pnp=86&pnp=1779&pnp=1813>